



全国地域安全運動

街頭犯罪の防止や詐欺電話被害防止を呼びかける全国地域安全運動が10月11日(水)～20日(金)の間実施されます。

刑法犯の認知件数は、岐阜県下では減少傾向にあります。大垣警察署管内では、身内を名乗る者からのオレオレ詐欺、融資会社をかたる融資保証金詐欺、メールによる架空請求詐欺などで、8月末現在で被害額は約2,021万円にもなります。

大垣警察署では、このような詐欺電話被害防止のために、在宅中でも留守番電話にして相手を確認することを勧めています。

留守番電話では、犯人が自分の声を録音されることを嫌い、被害防止の効果が期待されます。

また、警察では銀行などの金融機関と協力し、高額な金額の引き出し者に対し注意を促し、詐欺被害の未然防止を図っていますので、ご協力をお願いします。

車上ねらい・部品盗等の盗難に注意

大垣警察署管内では、車上ねらいや部品盗難が多発しています。

自宅車庫内に駐車してあっても、鍵のかけていない車両内の貴重品や軒先に置いてあるタイヤなどが盗難被害にあっています。

また、飲食店やスーパーマーケットに出かけた際、短い時間と油断して車内にハンドバッグやカバンなどを座席に置いたままにすると、助手席の窓ガラスが割られて盗難被害にあいます。

盗難被害にあわないようにするために、(1) 車から離れる際は、短時間でも車内には貴重品を置いていかない、ドアロックを必ずする、(2) 自宅駐車場にはセンサーライトなどをつけて夜間の侵入者を防ぐ、冬用タイヤなどの保管はシートをかけるなどしましょう。



住宅火災の実態について

- ・住宅火災における死者発生原因は1位：たばこ、2位：ストーブ、3位：電気器具類、4位：コンロとなっている。
- ・住宅火災で死者のうち、約半数の方は逃げ遅れである。
- ・住宅火災の死者のうち、高齢者が約7割を占める。
- ・寝具類に着火した火災による死者が一番多い。
- ・日中の活動時間帯に比べ、就寝時間中の住宅火災による死者発生率は約5倍である。

この住宅火災の現状をふまえて、自分の身、家族の身を守るための「7つのポイント」を紹介します。

火災多発！「火の用心」

安八町では、今年に入ってから火災件数が増加しています。9月5日現在11件となり、既に昨年1年の火災件数(5件)の倍以上となっています。

ちょっとした不注意から火災になる場合が多く、特に、原則禁止とされています野焼きから枯草などに燃え移る事案が多く見られます。

これから空気が乾燥する季節を迎えるにあたり、火の取扱いには、より一層のご注意をお願いします。

